

第4章 目指す水道の姿

1 基本理念

安全な水道水を安定して送りつづけるために

～信頼されるライフラインを目指して～

我が国が世界に誇るインフラ^(注1)である水道は、全国的に広く普及し、ほとんどの国民は水道に生活用水を依存するようになりました。

しかし、近年、地震等の被害により各地で水道施設が破損し断水が生じるなど、多くの国民に影響を及ぼし、転換期を迎えた水道には一段と高い安定性が求められています。

一方、川西市水道事業においては、事業運営面で、給水世帯は増加傾向にあるものの水需要は減少傾向にあり、将来的には益々厳しい経営環境下に置かれるものと推察されています。

しかしながら、施設整備面では、水道は生命の維持と市民生活に必要不可欠なものという視点から、「信頼されるライフライン」を目指して、老朽化しつつある施設の整備・更新を行い、災害時においても水道水の安定供給ができる体制にしなければなりません。

そのため、「安全な水道水を安定して送りつづけるために」を基本理念として掲げ、これを目指します。

この基本理念に基づき、水質、安定供給、経営、環境等の課題に対して基本目標・施策目標を定めて対応していきます。

(注1) インフラ（インフラストラクチャーの略）
社会的経済基盤と社会的生産基盤とを形成するものの総称。

2 基本目標

基本理念を実現するために、4つの基本目標を設定し、施策目標を定めます。

安全な水道水を安定して送りつづけるために

～信頼されるライフラインを目指して～

